職 務 経 歴 書

20xx年xx月xx日現在

氏名　ゆとり 転職

職務要約

学生時代から、教育に関して深く興味を持っており、大学を卒業してから6年間、中学校で数学科の教諭として働いてきました。現在は、3年生の担任として、学級運営や教科指導、部活動指導などに携わり、生徒の学力向上や学習環境の改善などに貢献。数学科の主任として「ICT活用」の学校内への導入、ICTリーダーとして研修のとりまとめも担当しました。また、後輩教育にも注力し、新任教師や教育実習生の指導にもあたりました。

6年間の教育活動で特に力を入れたことは数学科の主任として教科指導における「ICT活用」を牽引してきたことです。最初の3年間は自らの授業力向上を目指して研究授業を数多く行い、研修会にも積極的に参加をしてきました。4年目から2校目に異動し、数学科の主任を担当。従来の板書による全体授業ではなく、個に応じた効果的な学習を目指し、「ICT活用」の導入を推進しました。

文部科学省から推奨された、ICT教育「一人一台タブレットの導入」に当時の学校現場は混乱していました。変化を好まない環境で、数学科としてもICT導入に対して他の教員から反発がありましたが、自らICTを用いた学習支援システムを取り入れ、授業時の生徒の主体性や創造性、学習効果の向上に成果を出し、管理職や同じ数学科７名の教員を説得しました。業者とも密に連携を取り、必要であれば公開授業を行い、実際の活用方法をレクチャーしました。現在は、数学科だけではなく、学校全体で同じ学習支援システムが活用されるようになり、ICTリーダーとして、校内研修なども行なっております。そのような実践の結果、生徒の授業満足度が150%に増加、全国学力テストでも、数学の学年平均が過去5年の記録で最高点となりました。

今後は、さらなる挑戦として学校外において〇〇○○○に携わっていきたいと考えております。また、より大きな規模で多くのチャレンジができる環境での就業を希望しております。

PCスキル

|  |  |
| --- | --- |
| Word | 生徒配布用の資料作成が可能なレベル |
| Excel | 「VLOOKUP」などの関数を組み合わせての数式作成が可能なレベル |
| PowerPoint | レイアウト図の作成、新規資料作成が可能なレベル |

長所とバリュー

・発信力　…　変化しにくい教育現場においてICT「一人一台タブレット」の導入は困難極まりないものでしたが、自ら率先してICTの実践を積み重ね、他の教員に使い方を伝えたことで自分の自信となりました。考えを多くの人に伝えて納得させる力はプレゼンテーションで相手の心を動かす大切な要素だと考えております。

・学ぶ力　…　授業におけるICT導入のように、新しい実践を行う際には、必ず自分が納得いくまでインプットを重ねていきました。常にアンテナを張って貪欲に学び続ける力は変化の激しい社会において不可欠な力であると自負しております。

・調整力　…　学校現場では教師一人一人が独立しているため、横の連携が希薄になりがちでした。トラブルが発生した時に関係各所との調整、連携ができるように日頃から細かい情報を発信するだけでなく自ら収集し、問題解決につなげる力はチームとしての連携向上に大きく貢献することができます。

職務経歴

|  |  |
| --- | --- |
| 20〇〇年04月～現在　　中学校教諭 | |
| 事業内容：公立中学校  生徒数：〇〇○人 | 正規職員として勤務 |
| 20xx年xx月～現在　　　 　〇〇〇〇〇市立〇〇〇〇〇中学校  20xx年xx月～20xx年xx月　〇〇〇〇〇市立〇〇〇〇〇中学校 | |
| 【業務内容】  ・学級運営（担任6回経験）  ・教科指導（授業の計画・実施、テスト作成・採点、補習・追試対応など）  ・教科外活動（生徒会顧問、学校行事運営、生徒指導など）  ・進路指導  ・部活指導（サッカー部顧問）  ・教科主任（数学科、20xx年～20xx年）  【学級運営での実績・取り組み】  3年生の担任として生徒の進路相談を担当しました。ていねいにヒアリングした生徒の希望を第一に考え、三者面談ではさまざまな場面で保護者を説得。連携を進めるためにそれぞれの性格に合わせて柔軟に粘り強く対応し、結果として全員が希望の進路に挑戦することができました。  また、学校行事においては、生徒主体でクラス運営をさせるために、年度当初からリーダーの育成に力を入れました。普段の声かけや、小さなグループでのリーダー経験、ときにはクラスで話し合いを行わせたところ、多くの生徒にリーダーシップが生まれました。結果全ての行事で、主体性を発揮した生徒がクラスを盛り上げ、無事成功を収めました。  【教科指導での実績・取り組み】  生徒が主体的に学ぶことができるようICTを用いて、生徒の端末へ教材を配信し、授業中にクラスメイトの考えを簡単に共有できるような環境作りをしました。これまでの挙手をしての発表と異なり、全生徒が気軽に自分の意見を相手に伝えられるようになり、授業に活気が生まれました。  また、教科の代表としてオンライン授業の研究を率先して行いました。オンラインならではのメリットを活かしながら、対面と同じ内容の授業を実施しました。学期末の授業アンケートでは通常の授業よりも30％良い評価（非常に良い、まあまあ良い）の解答率が増加しました。結果、学校全体でオンラインを導入することとなり、学校としてのオンライン授業の向上に寄与しました。  【部活指導での実績・取り組み】  サッカー部はそれまで、公式戦全敗のチームでしたが、論理的なトレーニング方法を自ら学び、生徒とともにミーティングを重ね、練習方法の試行錯誤していくことで地区大会４回戦進出。顧問主導の練習ではなく、生徒たちで話し合って決めた練習を続けたことで、高いモチベーションを保つことができたと考えています。また、高校生との合同練習や、元プロ選手を招きアドバイスをもらうなど、数多くの成長機会に恵まれたことと、生徒の努力により成し得た結果と考えています。  【教科外活動での実績・取り組み】  生徒会担当として、式典や行事、委員会活動の運営、さらには校則変更にも携わりました。特に、生徒から要望の多かった「ツーブロックに関する校則」については、生徒会で話し合い、生徒・保護者向けのアンケートを作成し、多くの賛同を得ました。また、教員向けには、職員会議で全職員の賛成が得られるまで、粘り強く交渉した結果、３０年以上変わることのなかった、ツーブロック禁止の校則の撤廃に至りました。 | |